

# つながりサポート居場所づくり事業【旭川市】

個別事業費	2,471 千円
交付金額	1,235 千円

## 地域の実情と課題

- ・景気の影響を受けやすい女性の就労状況  
非正規従業員の割合は、男性については60歳以上が5割を占めているが、女性の場合は59歳以下が7割を超えているため、女性の方がより景気による影響を受けやすく、失職後に深刻な状況に陥りやすい。
- ・女性の困窮  
世帯の家族類型別推移を見ると、女親と子どもからなる世帯の割合は増加傾向にあり、地域女性の就労状況も相まって生活に不安を抱える女性は相当数存在。

## 事業の特徴

- ・若年層の興味・関心が高いメイクやパーソナルカラー診断などのワークショップと相談  
支援を組み合わせた居場所づくりイベントを全3回開催。さらに、既存の居場所の利用や居場所となり得る人間関係構築のきっかけを提供するため、居場所体験会を全4回開催。
- ・運営スタッフやワークショップ出展者が、参加者からの何気ない会話を掘り下げ、不安や悩みを聞き取り、支援制度や相談窓口などの情報提供を行った。

## 事業の効果

- ・既存の相談窓口とは全く異なる形態による困りごとの掘り起こしにより、既存の支援には自らがたげられない女性に対しても、相談の機会を提供するとともに相談窓口の周知を図ることができた。
- ・メイクといった女性が広く関心を持つワークショップの開催を事業の中心に据えたことで、目標を上回る参加者を獲得し、幅広い年齢層の多様な困り事に早期にアプローチと相談窓口の周知を図ることができた。

## 目的・目標

従来の取組から一歩踏み込んだ新たなアプローチ方法による相談支援を行い、実際に困りごとが生じた際の相談ハードルを下げ、相談支援につながりにくい女性を支援につなげる環境を整備する。  
**【事業目標】** 相談者数(延べ) 目標値60人 実績値11人  
**【事業KPI】** 参加者数(延べ) 目標値255人 実績値332人

	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業目標	相談者数(延べ)	60人	11人	18%
事業KPI	参加者数(延べ)	255人	332人	130%

## 連携団体

高等学校・大学・専門学校、イオンモール、あさひかわ若者サポートステーション他

## 今後の課題

不特定多数が来場するイベントに足を運ぶことに精神的ハードルを感じる方がいることに配慮し、参加しやすい小規模イベントを一定程度継続的に開催する必要がある。

## つながりサポート居場所づくり事業

### 【地域の実情と課題】

景気の影響を受けやすい女性の就労状況と女性の経済的困窮

### 【内容】

居場所づくりイベント「つながるスペース」 8月27日、10月24日、11月14日開催(全3回)

困難な状態にあるにも関わらず、成育環境などから困難に無自覚な層にアプローチするために、女性の興味関心が高いネイルなどのワークショップと相談支援を組み合わせた居場所づくりイベント事業を開催し、来場者との会話から困りごとを掘り起こし、必要に応じて支援先や制度の紹介を実施。

居場所見学イベント「居場所めぐり」 8月27日、9月19日、10月17日、10月24日開催(全4回)

居場所に興味を持ちながらも、初回訪問や一人での利用に心理的ハードルを感じている女性を、スムーズな利用開始につなぐため、既存の居場所を体験利用できるミニイベントを複数箇所で開催。

### 【事業目標】

本事業を通じて支援につながった人数(相談含む)(延べ) 目標値60人 実績値11人

### 【事業KPI】

参加者数(延べ) 目標値255人 実績値332人

### 【対象経費】

チラシ印刷費、会場使用料、講師謝金、イベント委託料など